

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

- 【タイトル】** 人材育成 ～「若竹の会」で事務に向き合える新人育成～
- 【背景と目標】** 今年度本校では、新規採用・新正規採用の教員が5名と例年と比べて多く、それに対応するために主幹教諭・教務主任が主体となって「若竹の会」と称して週に1回新人の研修を行っている。その中で、事務処理について知らない先生自身が損をしたり、知らない間に条例違反をしたりすることがあるため、主幹教諭に「若竹の会」で講義を行うことを提案したところ是非とのことだったため、今回の実践に至った。
- 【協働・取組】** 福利厚生について、職員が非常に恩恵を得やすい品目の解説を行い、利用を促した。
- 【成果と課題】**
- ・取り上げた品目の利用期限は12月末だが、講義を行った5名のうち、すでに3名については品目の利用があった。
 - ・今回講義の対象でなかった他の教員からの利用も昨年度と比べて早く、多くなっている。提出書類もミスが少なかった。(受講者が働きかけてくれた？未確認。)
- 【教訓】** 最初は新人育成のための実践だったが、結果として職員全体の事務処理能力が押し上げられ、学校事務の仕事の負担が減る結果となった。また積極的に働きかけていきたい。

- (参考例)
- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
 - ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
 - ③ 環境整備の実践
 - ④ 業務改善(教職員の負担軽減)の実践
 - ⑤ 財務(予算要求、保護者負担軽減)に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度 1 2 (3) 4 5

② 実践への周りの反応

1

2

3

4

5